基本事例 3

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練開催による他団体との連携

～船橋市社会福祉協議会の取り組み～

＜基本データ＞

実 施 主 体	・船橋市社会福祉協議会
地域の現状	・東京から 20ｋm圏内の千葉県北西部に位置し、東は習志野市・八千代市、西は市川市、北は鎌ケ谷市・ 白井市に隣接し、南は東京湾に面するという立地条件の下、９路線 35 駅もの鉄道網がある京葉都市圏の中核都市として発展。 ・人口 636,539 人、高齢化率 23.7%、0-14 歳人口割合 13.1% （平成 30 年４月１日現在） ・公立小学校 54 校、公立中学校 27 校 ・自治会数 876 自治会 ・民生児童委員、主任児童委員数 24 地区 780 人（定数） ・地区社協数 24 地区 2,286 人（ボランティア数）
助 成 期 間	・平成２３年度～２５年度
テーマ	災害ボランティアセンター運営

1 地域福祉フォーラムに取り組んだきっかけ・理由

災害時における社協の取り組みの一つとして、災害ボランティアセンターの運営があるが、市社協職員による被災地支援経験や災害ボランティアセンター運営経験が乏しい背景から、今後発生するであろう災害に向けての備えが必要であると考え、災害ボランティアセンター設置運営訓練を他の団体との連携を視野に入れた取組みとして行うため、基本圏域の地域福祉フォーラムとして実施の決定をした。

2 地域福祉フォーラムを進めるにあたり意識したこと

市内を５ブロックに分け、毎年訓練を開催する場所を変更することにより、災害ボランティアセンターについて訓練参加者への PR や理解を進め、災害時に共助としての運営を意識した。また、運営協力団体（SL 災害ボランティアネットワーク）※1　と運営に関しての共通認識（運営の方向性や役割の理解等）を図り、効果的な運営が図れるようにした。

※1　災害救援ボランティア推進委員会が認定するセーフティリーダーによる活動団体。
防災講座・訓練等の企画運営を実施している。
ホームページ　https://safetyleadernetwork.jimdo.com/

3 地域福祉フォーラムの参加者

- 船橋 SL 災害ボランティアネットワーク
- 船橋市ボランティア連絡協議会
- 地区社会福祉協議会
- 個人ボランティア
- 船橋市社会福祉協議会

※地域福祉フォーラム助成期間終了後は、船橋市赤十字奉仕団、千葉レスキューサポートバイク　※２　が参画している。

※２　バイクの機動性を活かした被災者の救護活動、情報収集、緊急物資搬送等の支援活動や災害ボランティアや防災リーダーの育成、災害ボランティアセンター立ち上げ訓練支援を行っている団体。
ホームページ　http://chiba-rb.or.jp/

4 地域福祉フォーラムで話し合った内容

職員が限られている中で災害ボランティアセンターをどう運営するか。

5 年度別の活動内容

年　　度	開催月・場所	内　容	参加者
平成 23 年度	8月 海神公民館	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	84 名
平成 24 年度	2月 北部公民館	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	100 名
平成 25 年度	2月 飯山満公民館	災害ボランティアセンター立ち上げ訓練	９２名

※各年２００，０００円助成を受け、備品整備を中心に活用。
※立ち上げ訓練開催にかかる会議を各年４回程度開催。

災害ボランティアセンター立ち上げ訓練の様子

6 地域福祉フォーラムを実施した後から現在、今後の展開

地域福祉フォーラムの助成期間終了後も平成 30 年度現在まで毎年災害ボランティアセンター立ち上げ訓練を開催している。また、開催に関わる団体の裾野を広げ、赤十字奉仕

団や千葉レスキューサポートバイクが参画し、訓練を通した団体間の関係づくりに努めている。さらに、災害時における団体間連携を強固なものとするため、市社協と災害支援団体（SL 災害ボランティアネットワーク、千葉レスキューサポートバイク）と設置運営に関する覚書の締結（平成 28 年度）や運送会社と支援協定を締結するための調整を行っているところである。

一方、市社協職員の災害支援に関するスキルの向上のため、他県での災害に対しての被災地支援を積極的に実施するようにし、市社協が実際運営する際の糧としている。そして、災害ボランティアセンターの運営マニュアルの策定、運営場所の選定、防災倉庫の設置等の成果がでている。

.

災害ボランティアセンター設置場所

防災倉庫

7 地域福祉フォーラムを活用したことのメリット

- 日頃の福祉活動ではなかなか関わることのない災害支援団体との関わりが生まれた。
- 予算確保ができなかった備品の整備について、充足することができた。
- 災害ボランティアセンターが社協で開設されることの周知を図ることができた。
- 市社協内での災害支援に関する共通認識が図ることができた。
- 共助力を高めることができ、社協及び地域の基盤強化を図ることができた。

8 まとめ

地域の共助力を高める、防災に関する取組みを行い、災害時における社協の基盤強化を中心とした取り組みをするために地域福祉フォーラムを設置した。地域福祉フォーラムを設置するまでは、災害ボランティアセンターの運営に関しての知識・経験がほとんどない状態であり、災害時の社協活動に不安があったが、毎年開催し改善を重ねていくことで社協職員の自信にもつながるとともに、地域への防災意識の醸成につながったと考察する。地域福祉フォーラムをきっかけとした共助のまちづくりを実施したことは特筆すべき点である。